





## 人口と世帯数 (5月1日現在)

	人口	3,301人 (+12)
	男	1,625人 (+8)
	女	1,676人 (+4)
	世帯数	1,354世帯(+5)


※( )内は、前月との比較



## 納税等

★印が6月に納めていただく税等です。

	村県民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	介護保険料	後期高齢者医療保険料	上下水道使用料
4月			●				
5月		●					●
6月	★						
7月		●		●	●	●	●
8月	●			●	●	●	
9月				●	●	●	●
10月	●	●		●	●	●	
11月				●	●	●	●
12月				●	●	●	
1月	●	●		●	●	●	●
2月				●	●	●	
3月				●	●	●	●

 税金は 社会を支える あなたの会費

## みんなの広場

### たかやまの文壇

高山村短歌会

二〇二三年 短歌会

檜の芽は陽ざしをあびて

百年生き百歳の歌を詠む

希望をもちて今日を生きつぐ 割田 良次

老農の逝きたる後は継ぎ手なく

田圃も畑も雑草しげる

目を病みて室に籠りし句会の日

欠席というはかくも寂しき 小林 良教

「甘酒が飲みごろですよ」お誘いの

間違い電話に妻はとまどう

裏窓を開けば椿咲きはじめ

あちこち遊ぶ園児の如く 後藤 節子

久に来る娘に持たせむと草餅の

ほのかな匂い母なつかしむ

幾十度寒風受けし檜の芽は

陽ざしをあびて大きくふくらむ 大津 初司

病室の窓より見ゆる吾が郷は

かすみたなびくその下にある

彼岸入りとうに過ぎてても雨も来ず

花木の芽吹き足踏みており 佐藤 重夫

雪雲が北の山々覆う時

旧知の人らのけなげを思う

ひとすじに植物愛でたる牧野博士

無限の宝庫今し吾らに 木村朝次郎

浅間嶺をすつぽり隠す黄砂来て  
戦火にあえぐかの地思えり